

## 令和3年度社会教育を核とする地域ネットワーク活用促進事業実績

### 1 創造の森活用事業実行委員会【上北地区】

#### (1) 企画

<地域課題解決スタートアップ研修会>【上北教育事務所主管】

○期日：6/22(火) ○会場：七戸町役場七戸庁舎 ○参加者数：12名

○内容：本事業の説明、ワークショップ（地域課題の洗い出しと今後の展開）

<実行委員会①>

○期日：8/10(火) ○会場：七戸町役場七戸庁舎 ○参加者数：8名

○内容：創造の森活用事業作業内容と役割分担等について

<実行委員会②>

○期日：8/27(金) ○会場：七戸町役場七戸庁舎 ○参加者数：9名

○内容：新型コロナウイルスの感染拡大による事業延期日時についての検討

<実行委員会③>

○期日：9/27(月) ○会場：七戸町役場七戸庁舎 ○参加者数：9名

○内容：事業延期日時と役割分担についての確認

<実行委員会④>

○期日：11/29(月) ○会場：七戸町役場七戸庁舎 ○参加者数：9名

○内容：第1回創造の森活用事業の成果と課題について（第2回創造の森活用事業に向けて）  
フォローアップ研修会について

<地域課題解決フォローアップ研修会>【上北教育事務所主管】

※新型コロナウイルス感染拡大のためオンデマンドで実施

○期日：2/14(月)～2/28(月)

○創造の森活用事業実行委員会による実践発表(20分)

#### (2) 実践

<活動①>

○期日：8/11(水) ○会場：東八甲田家族旅行村「創造の森」 ○参加者数：9名

○内容：イベント開催に向けての安全確認（①危険箇所の確認、②救急セットやAED等の確認）

<活動②>

○期日：10/22(金) ○会場：東八甲田家族旅行村「創造の森」 ○参加者数：9名

○内容：イベント開催の事前準備と進行の確認

<活動③>

※新型コロナウイルスの感染拡大のため、七戸町民限定で募集した一般市民と実行委員で活動

○期日：10/24(日) ○会場：東八甲田家族旅行村「創造の森」 ○参加者数：27名

○内容：①創造の森自然観察会、②環境整備とSDGsとの関わりについての勉強会、③環境整備作業

#### (3) 成果

○ 七戸町教育委員会生涯学習課の担当者を中心とし、実行委員の各団体が連携を密にとることができた。特に東八甲田家族旅行村の指定管理者と計画段階から相談できたことは、本事業を円滑に進めることができたことの要因のひとつである。

○ SDGsや自然環境のことについて学習会を開いたことが、一般住民の参加者が「創造の森を後世に伝えていきたい」等、自分事として活動に参加する上での動機付けにつながった。また、活動後には「美しくなった森に家族を連れて行きたい」「自分たちが今後もきれいにしたい」という感想があった。今回の地域課題の解決という目的に、せまることができたと考える。

○ 今後は、次回の活動へ生かすために、参加者から感想を聞く場面を設定する。また、町の広報担当者や新聞社等に取材してもらうことで広く周知し、多くの人々が訪れるような「創造の森」になるよう活動を継続して行う。

(4) 活動の様子



【スタートアップ研修会】



【第1回創造の森活用事業開式行事】



【SDG s 勉強会】



【SDG s 勉強会】



【自然学習会】



【環境整備作業】

## 2 西北地区実行委員会【西北地区】

### (1) 企画

<地域課題解決スタートアップ研修会>【西北教育事務所主管】

- 期日：8/10(火) ○会場：五所川原市中央公民館 ○参加者数：25名
- 内容：本事業の説明、ワークショップ（地域課題の洗い出しと今後の展開）

<事務局会議①>※新型コロナウイルスの感染拡大のため書面開催

- 内容：地域課題解決のためのイベント内容について

<会議②>

- 期日：11/22(月) ○会場：五所川原市中央公民館 ○参加者数：15名
- 内容：イベント内容決定、イベント当日の詳細について、役割分担、タイムスケジュール等の確認

<会議③>

- 期日：12/10(金) ○会場：五所川原市中央公民館 ○参加者数：15名
- 内容：イベント内容確認、役割分担、タイムスケジュール確認、担当コーナー準備

<地域課題解決フォローアップ研修会>【西北教育事務所主管】

- 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため紙面で開催。
- 内容：西北地区実行委員会による実践発表

### (2) 実践

<活動>

- 期日：12/19(日) ○会場：五所川原市中央公民館 ○参加者数：137名
- 内容：クリスマスイベント「楽しんじゃおう！ちょっと早いクリスマス」開催  
①軽スポーツ・段ボール迷路、②縄文ぬり絵、③クリスマスリース、クリスマスオーナメントボールづくり、④イルミネーション点灯式

### (3) 成果

- イベントでは、子どもたちの反応がとても良かった。クリスマスリースやクリスマスオーナメントボール、縄文ぬり絵の制作後に記念撮影をしたり、大ホールで行った軽スポーツと段ボール迷路で、5回、6回と繰り返し体験したりする子どもたちが多数見られた。「親子での楽しい時間を過ごす」という事業目的は達成されたと考える。
- イベント開催までの準備期間が短かったが、実行委員の協力により実施内容の決定、各コーナーの準備、イベント実施とスムーズに行うことができた。今回の事業を通じ、各実行委員の所属する団体の垣根を越え、実行委員同士で協力が図られた。
- 今後、今回の規模でイベントを行うとすれば、「ハートネットを作ろう」実行委員会やごしょがわら子ども読書活動推進実行委員会、スポーツ関係団体など、今回同様様々な団体に協力していただくことで、中央公民館全館を使い、さらに多くのコーナーを設けて開催することが可能ではないかと考える。

(4) 活動の様子



【スタートアップ研修会】



【段ボール迷路の製作】



【クリスマスリース作り】



【軽スポーツコーナー】



【イベント終了後サンタからのプレゼント】



【イルミネーション点灯】